

MPC-3000(SH2A) BL/I 2.01_55 2022/05/25

SEC()関数の抑止を解除

MPC-3X00(SH2A) BL/I 2.01_54 2022/04/07

複数のタスクで一枚のMPGをシェアしながら実行文中にPG nを頻繁に実行すると実行不具合が生じた

原因:

PGコマンドにはPGに対するPG判別書き込みコマンドが含まれていたため

対処:

PGの判別はパワオン後一回だけとする PGコマンドはPGに対する書き込みをおこなわないこととした
判別の様子はPG -3でリスト表示できる

MPC-3X00(SH2A) BL/I 2.01_53 2022/04/04

CU_POST USB-CUNET通信不具合

USB-CUNETにてデータリクエストした場合に点データ、MBKデータが返されない
2019/3月のCU_POST機能拡張の際 高速化のためデータを可変長にするカウントが追加された
しかし、USB_CUNETからのリクエストでは0のままであったため動作異常となった
データカウントが0の場合 点データ15 mbkデータ120として処理するように修正

なおUSB_CUNETでも四番目のデータを小さくすることによってCU_POSTメール転送が高速化される
点データは1~15 MBKでは1~120

データ番号. w ARYコード. b CMD. b COUNT. b
0-1 2 3 4

MPC-3X00(SH2A) BL/I 2.01_52 2022/03/29

- 1) Y(1)++Y(2) をみすごしていたのをチェックするようにした
- 2) MPC3200 CEP-179A対応 MMCのオンオフ
- 3) Q3Eコマンド修正

Q3E UDP対応 PLCの高速レスポンスに対応(PLCにはリターンディレイパラメータが無い)

Q3E UDPではエラーが多くなるので、エラーリターン機能を追加
引数の末尾に変数を追加するとその変数にエラーコードがかかれる
変数がなければ従来通り ランタイムエラーで停止(RESUME復旧)

*RTY

```
SET_DEST DestIP UDP_XOS  
Q3E (1,UDP|0) WRITE_BULK "D" 500 X(200) 100 ERR_Q3  
IF ERR_Q3!=0 THEN : pr "UDP_Q3E ERR" ERR_Q3 : TIME 100 : GOTO *RTY : END_IF
```

ERR_Q3にはいる値

82	MCプロトコルエラーリターン(指定できないアドレスなどを指定した場合)
94	送出エラー タイムアウト
95	受信エラー タイムアウト

エラー変数にあらかじめ1をいれておくと
82のMCプロトコルエラーリターンの詳細が表示される

エラー変数にあらかじめ2をいれておくと
Q3Eの送出データを表示する ただし送出データのトップは0にクリアされるので二番目に移動表示

いずれの場合もエラー変数は0かエラーコードが代入されるので必要な場合は都度設定

以上